

# 館長室へようこそ⑩

## 脳を使いこなす

図書館長 古川 聡

ある大学で「脳の科学」という講義を担当している。百数十人の文系学生を対象に、脳の構造やメカニズムを話す。しかし、難解な解剖学の用語やカタカナの語句が頻出するので、学生たちは頭を抱える。心理学専攻の学生にとつては必修科目なので避けることもできない。授業終了時に提出させる受講票には、「どうやって覚えればいいですか」「試験が心配で仕方ありません」という泣きのコメントが毎回あふれている。涙の絵文字だけ書いたものもあった。なぜ脳なのか。心理学を学ぶ者からすると、脳を理解すると心がわかる、心を知るには脳を学ばなければならないとなる。たとえばこのコラムを読んでいる方の脳の中でも、さまざまな情報が飛び交いながら処理されることで、印刷された文字を読み、それを理解し、さらには感想や印象を抱くという行動が瞬時に行われている。これは脳が働いた結果である。ただし、同じコラムを読んでも感想は違う。これも脳の働きである。行動の一般性と多様性、その両方を担っているのがわれわれの脳である。

学生に課題を出す。多くの学生は図書館に向かい、関連する本を検索し、論文を調べて読み、まとめ、提出する。できあがったレポートを読むと、同じように調べたはずなのに、出来具合のあまりの相違に驚くことがある。学生の頃、恩師に私も言われた経験がある。「ちゃんと調べなさい」「調べ方が悪い」と。

図書館は、大学にとつては脳のような存在だ。だが、その使い方はさまざまであろう。在学中に充分に使いこなせた人もいれば、それができずにありきたりの情報しか取り出せなかった人もいる。自由に使える図書館であるのだから、おおいに使いこなしてほしい。もちろん、自分自身の脳も使わないままにしているのはもったいない。

## AV資料室展示コーナー



図書館では2F ブラウジングルームと1F AV資料室入口にて、毎月のように展示を行っています。図書館の広報委員会や、AV資料担当者、また音楽研究専修の学生さんが研究発表会の資料展示をしたり、館員個人が担当したりしています。

ブラウジングルーム展示コーナーの紹介は、毎号「Information」でしていますので、今回はAV資料室の展示テーマを紹介しましょう。

### 2012年展示テーマ

2012年

4/2 ~ 4/28	ロッシーニ作曲「セピアの理髪師」全曲盤のCD (基礎ゼミのレクチャーコンサートに関連して)
5/1 ~ 5/31	聖五月にはセンパイの“アヴェ・マリア”が似合いそう♪
6/1 ~ 6/30	雨 又 雨 … そうだ! センパイの音楽を聴こう (最近の定期演奏会を中心に)
7/1 ~ 8/30	夏に聴く! センパイの喜びの歌 (先生方がソリストを務めた第九の演奏会を中心に)
9/1 ~ 9/29	九月の新涼を求め センパイの音楽を聴こう (管楽器・ピアノ・歌など様々な演奏者で)
10/1 ~ 10/31	アニメ・映画音楽 特集 (卒業生の作曲した作品を中心に)
11/1 ~ 11/30	センパイ特集2012 第九の国立 (先生方がソリストを務めた第九の演奏会を中心に)
12/1 ~ 12/31	待降節・降誕節 センパイの“アヴェ・マリア”を聴こう
1/1 ~ 1/31	2013 新年の音楽 (ニューイヤーコンサートや邦楽曲など)
2/1 ~ 3/16	春を待ち、センパイの音楽 聴きましょう (定期演奏会が中心)